

医療の安全に関する研究会 第6回研究大会

医療事故がおきたとき～医療の安全の視点から

日 時：2001年11月17日(土) 午前10時より

場 所：はまぎんホール、ヴィアマーレ (地図裏面)

横浜市西区みなとみらい3-1-1 (横浜銀行本店ビル1F、はまぎん産業文化振興財団)

電話：045-225-2173 FAX：045-225-2183

参加費：一般 ￥1,000円 学生 ￥500円

どなたでも自由に参加できます。郵便振替(口座番号00870-7-104540、

名義：医療の安全に関する研究会)にて、参加費をお振り込みください。

追って、参加証をお送りします。当日参加も可能です。

プログラム

9:30～	受付開始	
10:00～10:05	開会挨拶	島田康弘理事長(名古屋大学医学部麻酔科)
10:05～10:35	分科会報告	司会：斎藤悦子(藤田学園保健衛生大学) 吉田嘉宏(医療をよくする会)
10:35～11:00	大会長講演	堤 寛(藤田学園保健衛生大学医学部病理学) 司会：宮治 眞(名古屋市立大学病院医療情報部)
		「わが国の医療事故対策の現状と問題点」
11:00～12:00	特別講演	李 啓充(ハーバード大学医学部) 司会：岡崎悦夫(新潟市民病院臨床病理部)
		「米国における医療過誤防止への努力」
昼食		
13:00～16:50	シンポジウム	
		「医療事故をいかに医療の安全に生かすか」
		司会：島田康弘(名古屋大学医学部麻酔科) 酒井順哉(名城大学保健医療情報学)
		シンポジスト(1)星 北斗(日本医師会常任理事)
		(2)武見敬三(参議院議員)
		(3)三宅祥三(武蔵野日赤病院副院長)
		(4)阿部康一(医療事故市民オンブズマンメデイオ代表)
		(5)田辺 功(朝日新聞東京本社編集員室)
		(6)加藤良夫(愛知大学法学部教授・弁護士)
	指定発言	a)今中雄一(日本医療評価機構、京都大学医療経済学)
		b)村田 勝(安田リスクエンジニアリング)
		c)岡崎悦夫(新潟市民病院、臨床病理部長)
		d)柳田邦男(評論家・作家)
		e)富家恵海子(日本リサーチセンター、院内感染著者)
		f)山内隆久(北九州市立大学文学部、人間関係学科)
16:50～16:55	次期大会長挨拶	酒井順哉(名城大学保健医療情報学)
16:55～17:00	閉会の辞	堤 寛(大会実行委員長)

主催 医療の安全に関する研究会

〒481-0001 名古屋市東区泉一丁目一番35号
ハiestok屋6F センター気付
TEL052-951-3931 FAX052-951-3932